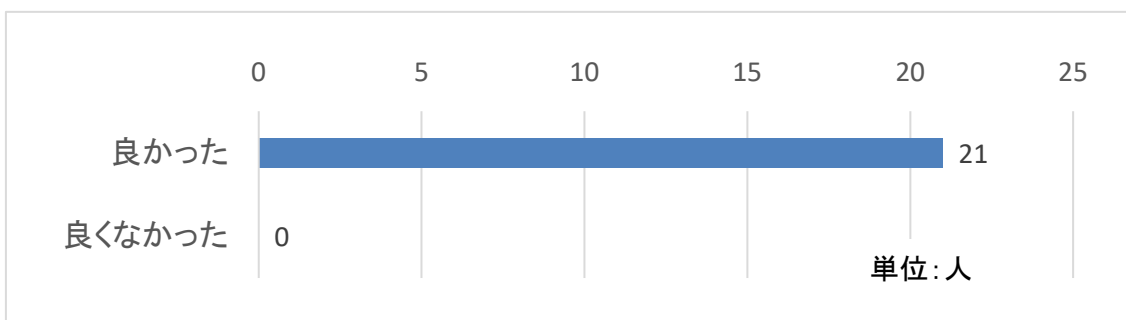


質問1

見学会に参加してどうでしたか。

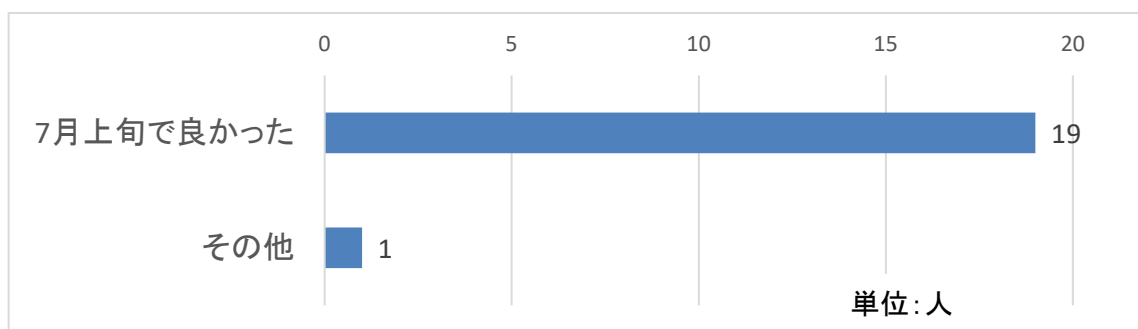


主な理由

- ・住民の居住地域に極めて近い所に採種園があったり、防風林についても認識を新たにしました。
- ・採種の仕方など、自分の知らなかった事がわかり大変良かった。又、防風林の管理として、あの様な所で行われていたことも、今後注意して見る様になると思うので大変参考になりました。
- ・コンパクトな移動で、色々な現場を見学できました。担当の方の説明も良かったです。

質問2

時期についてはどうでしたか。



主な理由

- ・季節よし、気候・気温共によし。
- ・暑くもなく寒くもなく、天気にも恵まれ、いい時期だったと思います。

質問3

①見学コースはどうでしたか。

主な意見

- ・あまり行く機会のない採種園、そして立木販売である間伐施業箇所など新しい知識が多く楽しかったです。自然休養林も魅力的で行けそうなところを探してみようと思っています。
- ・見学の課題項目としてはベストと思います。まず林野庁の行っている事業3箇所と、地域の様子2箇所などが知れたことが良かった。山全体の自然環境が見たかったです。
- ・良かったと思います。「休養林」は国有林だということは、行かなければ意識しなかったと思います。

質問3

②時間割はどうでしたか。

主な意見

- ・時間的に余裕があり充分見学出来ました。
- ・移動距離も近く、それぞれの見学場所の時間割は良かったと思います。
- ・それぞれ、もう少し時間があればいいと思いますが、限られた時間の中では、いた仕方ないのでは。

質問3

③説明等はどうでしたか。

主な意見

- ・空知森林管理署がモニター見学会の為に準備され、ボードまで作製され大変良く説明されていました。(一部専門用語がありました。)
- ・事前に資料等準備配付があったので、より深く理解できました。感謝です。
- ・大変わかりやすかったです。女性森林官や若い森林官に説明していただきなんとなく、未来がある様な感じがしました。林野庁としても、若い森林官を育てる意味でも良かった。
- ・分かり易かった。バスの中や歩きながらの説明もあったので、無駄な時間が無かった。

質問4

今回の見学で最も印象に残ったものは何でしたか。

主な意見

- ・「防風林は地域の暮らしを守る為に造成された森林である。」と「地域住民との理解と密着で『防風林があつてよかった』」の言葉が印象的でした。
- ・長沼町防風林見学に植樹方法から樹木が育ち役目を果たすまでチャートを利用し説明していただき、理解しやすく森や林を見る目が変わった。防風林の維持・管理に若い女性が従事していたのは良かった。
- ・採種園～大変な長期間に渡って最良の苗づくりをしていることを知り、その育成には地道な取り組みの積み重ねによるものと感心させられた。
- ・採種園のことが印象に残りました。そもそも精英樹なるものを育てて、そこから長い年月をかけて良質の種子をとっているとは、知りませんでした。ほんとに根気のいる作業でデータをとり、それを次の人に引き継いでいく、すごい研究だなと思いました。森林の質を保ち向上させていく技術が受け継がれて欲しいと思います。
- ・間伐実行箇所見学。近所で前年度、森林伐採が行われていて、散策中に伐採された材木が整然と並んでいる様子を見たり、トラックに積まれた木材を運び出して、家の前の道路を何台も通っている様を見ていたので、その先に行われていた踏査・計画・調査など、一連の流れとして知ることが出来た。

質問5

これからの現地見学会に取り入れてもらいたい内容はありますか？

主な意見

- ・見学だけでなく体験もとり入れてほしい。安全確認、日程調整等々簡単ではないと思いますが、御検討願います。
- ・保護林への取組みとエゾシカ対策への取組みの状況やブナ林等も見たいと思っています。
- ・特徴的な森の見学。例えば杉林、ブナ林、アカエゾマツ林など。木材工場。製材、合板、集成材など。家具づくりの現場。
- ・最近自然災害が続く、国有林でも大規模な地滑りや、林道や橋の寸断などの報道がありますが、これらの復旧工事の現場なども見たいと思いました。
- ・活気あふれる現場や木材市場・流通の実績と実態の見学を望みます。

質問6

その他この見学会に参加して、気づいたこと・思ったこと・意見・提案・感想等何でも構いませんのでお書き下さい。

主な意見等

- ・先日は皆さまにお世話になり誠にありがとうございました。バス内での説明では高山植物や、月形スギ希少個体群保護林についての話に興味をもちました。
- ・資料に読み仮名を付けてください。立木はタチギなのかリュウボクなのか、地拵えを読める人がどれだけ居るのか、などなど。地名についても同様です。岨山(きりぎしやま)は読めませんでした。
- ・地域で開催される植樹イベントや学習会に参加できれば参加したい。モニターになっていることを地域の管理者に知らせ、そこから、参加者への誘いが有れば良いのですが。モニター全体では、年に一回の見学会が限度かもしれませんが、地域で個別に参加できりる機会があれば、国有林事業への理解もより深まるように思います。
- ・採種園では、新しい発見が多く、考えたこともなかった針葉樹の着果や採取量について知ることができました。間伐箇所では名前しか知らなかった立木販売について聞くことができ、新鮮で嬉しかったです。
- ・今の林業は少し閉鎖的で、補助金であったり自立しているとは程遠いですが、この見学会で山好きの皆さんと好奇心とやる気に満ちている方々とお話しするとまだまだ明るい未来で山が育つ気がしました。
- ・森林管理署の皆さんや、森林管理局の皆さんのお話が聞けてとても嬉しく、勉強になりました。国有林の山は憧れの存在です。また、機会がございましたら、どうぞよろしくお願い致します。
- ・今回の見学地は、森林管理、造林の地味な現場をみせて頂きました。モニターにならないと行けないような場所であり、技術的なことを知ることができました。
- ・由仁町の間伐現場をみて、間伐の実際の仕方が分かりました。低コストで資源を生かすために「列状間伐」していると、「機械化、安全、若手雇用で成長産業化できる」と。なるほどと思いました。今後も北海道の森づくりに職員の皆様、頑張ってくださいと思います。森林官の仕事にも興味を持ちました。
- ・今まで、点で見ていたものが、線(流れ)として感じられ興味深いです。山に登って、“あ～木にピンクの札が付いている、何か数字が書いてある”と思っていましたが、その意味が少し理解できてきました。友人たちに、“モニター通信”として、私がへえ～！！と思ったことなど、時々メールを流しています。いろいろな感想が聞けて楽しいです。

国有林モニター現地見学会での質問と答え

① 苗木を購入する際に品種指定できる名称などはあるのか

→ 品種指定できるものとしては、カラマツの花粉をグイマツの雌花に受粉してできたもののうち、カラマツよりもネズミの害に強く、成長が早い等の利点があるものは、クリーンラーチという品種として流通しています。

② 採種園の結実状況の調査結果などは道有林に情報提供しているか

→ 毎年行っている種の豊凶調査の結果を北海道と共有しており、採種・育種事業者へは北海道を通じて情報提供しています。

③ 胸高直径、北海道は 130 センチ、本州は 120 センチなのはなぜか

→ 立木の最も測りやすい位置として、各国で決めています。日本では一般に 120 センチメートルを胸高直径としていますが、北海道では 130 センチメートルを採用しています。ヨーロッパでは 130 センチメートル(4 フィート 3 インチ)、アメリカ合衆国、カナダでは 137 センチメートル(4 フィート 6 インチ)となっています。

④ このように平らなところは自走式の機械で刈り払いした方が良い(防風林で)

→ 森林の作業地は平らな箇所はまれで、傾斜地が多く地面も凹凸が激しいため、農地や公園などで使用されている自走式の草刈り機で草を刈るのは困難です。現在、傾斜のある箇所でも使用できる森林作業用の下刈り機械の開発に力を入れています。

⑤ 防風林は、もともとあった林を防風林に残したのか、それとも新たに造成したものか

→ 防風林は植栽したものが多いです。

一方、開拓時代前からあった林を防風林にした箇所もあり、そのような場所ではミズナラなどの大きな木が点在していることもあります。

⑥ 防風林の植栽木にナナカマドを選択した理由

→ 植栽した樹木が成長したときに、田畑の日陰をなるべく小さくするため、樹高が高くない種類の木(ナナカマドなど)を防風林の林縁に植えています。